

2025年日本における収益性・再現性の高い副業レポート

特に収益性の高い副業ジャンルとその理由

- ・IT・プログラミング系副業（システム開発・データ分析など） – 専門スキルが要求される分野であり、企業のDX（デジタル変革）需要やIT人材不足を背景に高単価案件が多いです¹²。たとえばWebアプリ開発やAI関連プロジェクトでは1件あたり数十万円以上の報酬も期待でき、データサイエンス系では「単価が数百万円になる」例もあります¹。ITエンジニアはテレワークとの相性も良く、週末や夜間の「週1〜2日」だけでも仕事しやすいため、効率的に高収入を得られる副業ジャンルです³。
- ・動画編集・デザイン系副業 – 動画コンテンツ需要の拡大に伴い、YouTuberや企業からの動画編集依頼が増え、高い収益性を持つ副業です。動画編集は未経験からでも始めやすい反面、需要過多によりスキルを磨けば「今後しばらくは動画編集者は売り手市場が続く」と予想されています⁴。1本数千円〜数万円の案件が多く、テロップ入れ等の部分作業でも報酬が得られます⁵。デザイン分野も同様に需要が高く、ロゴ制作やWebデザインでは単価数万円以上の案件が多数あります⁶。クリエイティブ系副業は自身のポートフォリオ次第で大きな案件に繋がるため、高収益を狙えるジャンルです⁷。
- ・コンテンツ発信・アフィリエイト系副業 – ブログ運営やYouTubeなど、自分のメディアで広告収入や成果報酬を得る副業は当たれば大きな収益が期待できます。ブログ・アフィリエイトは副業ランキングでも常に上位に挙げられ、成功すれば「収益がスケールしやすい」ビジネスモデルです⁸。初期は時間がかかるものの、一度人気サイトやチャンネルになれば月数十万〜数百万円の広告収入を得ているケースもあります。また近年はAIによる記事作成支援で短時間で高品質な記事を書くことも可能となり、スキマ時間で確実に稼げる副業として依然人気が高いジャンルです⁹。ただし競争も激化しており、差別化や専門性が重要です¹⁰。
- ・物販・転売（せどり）副業 – 商品を安く仕入れて高く販売する転売ビジネスは、在庫管理や市場調査の手間はあるものの、初心者でも仕組みが簡単で始めやすく人気が高まっています¹¹。特にプラットフォームの発達で、中古品の転売（せどり）は「副業として人気が高まっている」分野です¹²。例えば新品・中古の限定品を仕入れてネットで売れば差額が利益となり、うまくニーズを捉えれば月数十万円規模の利益を上げる人もいます。国内市場だけでなく、輸出せどり（日本の商品を海外に販売）も注目されており、需要の高い日本製品を海外マーケットで売ることで大きな利益を出す事例もあります¹³。在庫リスクや初期資金は必要ですが、再現性も高く取り組む人が増えています。
- ・専門コンサル・営業支援系副業 – 自身の職業経験を活かしたコンサルティングや事業支援も高収益が見込める副業です。企業側は即戦力となる外部人材を求めているため、副業マッチングサービス上で営業拡大やマーケティング戦略立案といった案件が多数成立しています¹⁴¹⁵。2024年度は企業が募集する副業案件の職種で「営業/販路拡大」が1位、「マーケティング/PR」が2位を占めました¹⁴¹⁶。これらは専門知見が報酬に直結しやすく、時給ベースでも高額（数千円〜数万円）になりやすいため、経験豊富な人ほど効率よく稼げるジャンルです。また新規事業企画など経営に近い支援も需要があり、短時間のアドバイザー契約でも高収入を得るケースがあります¹⁶。

注目されている・需要が高まっている具体的なスキル

- ・**AI活用・データサイエンス関連スキル** – 近年のAIブームにより、機械学習モデルの開発運用や生成AIの活用に精通した人材への需要が急増しています。企業のDX推進や第4次産業革命の流れの中で、最新テクノロジーを使いこなせる人材は深刻な不足状態であり「あらゆる領域でIT技術者へのニーズが非常に強く」なっています²。そのためPythonによるデータ分析やAIモデル構築などのスキルは副業でも高単価案件が期待できます。また、**AI記事要約・生成**など生成AIを活用したライティングや画像生成サービスも登場し、AIツールを使いこなすスキル自体が新たな稼ぎ方として注目されています。AIの普及により一部の単純作業は自動化されましたが、その一方で「AIを活用してスキルを本気で活かして稼ぐ人」だけが生き残る時代となり¹⁷、AI×〇〇という専門性がある人材ほど引く手数多になっています。
- ・**動画編集・映像制作スキル** – 5G普及による動画消費の拡大で、動画編集者の需要は年々高まっています¹⁸。YouTubeやTikTok向けの動画加工、テロップ入れやカット編集ができるスキルは、個人クリエイターから企業PRまで幅広く求められます。昨今は動画編集スクールも乱立し人材供給は増えてきましたが、市場拡大に追いつかず**動画編集者は依然売り手市場**と見られています⁴。加えて、編集だけでなく企画構成やディレクションができる人材はさらに不足しており、複数のクリエイターをまとめるディレクター的スキルまで持つと重宝されます¹⁹。また、字幕の多言語化やSNS向け短尺動画の制作など新しいニーズも生まれており、映像系スキルは今後も副業市場で注目されるでしょう。
- ・**Webライティング・SEOスキル** – **Webライター**は特別な機材や資格が不要で始めやすく、需要が底広いため副業の定番スキルです²⁰。実際、副業内容のアンケートでは「ライター」が全体の15%で最多という結果もありました²¹。近年は企業のオウンドメディア記事や商品紹介記事の需要が多く、SEO（検索最適化）の知識を持ち読み手に響く文章を書ける人が重宝されています²²。初心者向けの低単価案件も多い一方、専門知識のある分野であれば文字単価が5円～10円以上の高単価案件も受注しやすいです²³。また、AI文章生成の台頭で一見競争が増えたように見えますが、むしろ**ChatGPTなどAIを補助に使いこなせるライター**が短時間で高品質な記事を提供するケースも出てきています⁹。総じてWebライティングスキルは参入障壁が低く需要が継続して高いため、注目度の高いスキルと言えます。
- ・**Webデザイン・UI/UXスキル** – 企業のデジタルシフトに伴い、ホームページ制作やLPデザイン、アプリUI設計などの案件は豊富です。Adobe XDやFigmaを使ったUIデザインや、HTML/CSSコーディングのスキルを持つ人材は副業市場でも引く手数多となっています。クラウドソーシング上でも**Webデザイナー**の募集は非常に多く、「需要が高く、単価の高い案件も多い」状況です⁶。特にデザインの理論とトレンドを理解した上で、クライアントの要望に応えられる柔軟性を持つデザイナーは高評価を得やすく継続案件にも繋がります²⁴。また、ノーコードツールの普及で誰でも簡単なサイトは作れる時代になりましたが、その分**プロならではの洗練されたデザイン**やユーザビリティへの配慮ができるスキルが差別化ポイントとなり、需要が高まっています。
- ・**語学（翻訳・通訳）スキル** – グローバル化が進む中で、**英語をはじめ多言語の翻訳・通訳**ニーズも増加しています²⁵。副業として自宅のできる翻訳は主婦やシニアにも人気ですが、特に**専門分野の翻訳**（法律文書、医療論文、技術資料など）は高単価報酬が期待できる注目スキルです²⁵²⁶。企業は社内にはない語学力を外注するケースが増えており、クラウドソーシングでも翻訳案件が多数見られます。TOEIC高得点や通訳資格などがあれば有利ですが、実務経験や専門知識がものを言う世界です。需要背景として、訪日観光客の回復や海外展開する中小企業の増加もあり、**多言語対応が必要な場面**が拡大していることが挙げられます²⁵。今後も語学スキルは副業で活かせる強みとして注目されるでしょう。
- ・**オンライン教育・コーチングスキル** – オンライン講師やスキルシェアの分野も需要が伸びています。UdemyやSkillshare、日本では「ストアカ」や「Udemy日本版」などのプラットフォームで、自分の

得意分野を講座化して販売する動きが盛んです。背景にはコロナ以降の学習需要の高まりがあり、「学習需要が高まる中、自分の得意分野を生かして収益を得られる」チャンスが広がっています²⁷。プログラミングや英会話、資格試験対策から趣味のハンドメイド技法まで、あらゆるジャンルでオンライン講座が求められています。教材を一度作れば繰り返し販売できるため収益の蓄積もしやすく、**教えるスキルやプレゼン力**を持つ人には有望な副業スキルです²⁸。また個人の知識発信として、noteやブログで有料記事を書く「ナレッジ販売」も注目されており、専門知見をコンテンツ化するスキルが重宝されています。

副業需要増加の背景（経済・テクノロジー・ライフスタイルの変化）

- **企業の副業解禁とコロナ禍の働き方変化** – ここ数年で多くの企業が社員の副業を容認するようになり、副業が新しい働き方として注目を集めています²⁹。政府が2016年に方針を変更し副業解禁を打ち出し、2018年には働き方改革の一環として副業促進を公式に発表しました³⁰。その結果、2023年時点で**60.9%の企業が副業を容認するに至っています**³¹。また新型コロナウイルスによるリモートワーク普及も追い風となり、空いた時間を副業に充てる人が増加しました²⁹。自宅でテレワークしながら副業を並行したり、オフィスへの通勤が減った分の時間を使って副収入を得る動きが広がっています。**リモート副業**という言葉も生まれ、本業と副業を場所や時間を柔軟に組み合わせる働き方が定着しつつあります。
- **収入面の不安・物価上昇への対策** – 経済的な背景としては、本業の給与が伸び悩む中で生活費を補う目的や将来への備えとして副業に取り組む人が増えています。特にコロナ禍で収入減少を経験した人や、物価高・増税により可処分所得が目減りした層にとって、副業で収入を増やしたいという動機が強まっています³²。実際の調査でも、「本業の年収に不満」が副業を始めるきっかけのトップであり、副業で得た収入額は「月1〜5万円未満」がボリュームゾーンという結果が出ています³³。これは、副業が家計の足しとして日常化していることを示します。副業収入が**月数万円でも生活にゆとりを生む**との考えから、会社員の約5人に1人がお小遣い稼ぎ的な副業を実際に行っており³⁴、今後も副業人口は増え続けると予想されます³⁵。
- **プラットフォーム技術の進展と環境整備** – オンラインプラットフォームやマーケットプレイスの発達も副業拡大の大きな要因です。クラウドソーシングサイトやフリマアプリ、スキルシェアサービスなどの登場によって、個人が簡単に副業案件を見つけたり商品・コンテンツを販売できる環境が整いました。インターネットがあれば地域を問わず仕事を受注でき、決済・契約もオンラインで完結します。これにより従来は副業機会が限られていた地方在住者や本業多忙な人でも、副業に参入しやすくなりました。また、スマホ一つで完結するサービスの増加も見逃せません。例えばフリマアプリの普及で誰でも不要品販売や転売ができるようになり、YouTubeなどの普及で個人がメディアを持って収益化するハードルが格段に下がりました。技術進歩が「**誰もが副業できる時代**」を後押ししていると言えます。
- **個人の価値観変化と自己実現志向** – 若い世代を中心に「会社一本ではなく複数の収入源を持ちたい」「自分の好きなこと・得意なことで稼ぎたい」という価値観が広がっています。本業だけでは得られない**やりがい**や**自己成長**を副業に求める人も多く、副業を自分の興味・情熱を形にする場と捉える傾向があります³⁶。例えば、音楽好きがDJ活動を副業にしたり、ITエンジニアが副業で新サービス開発に携わってスキルアップを図るケースなど、**自己実現型の副業**が増えています。また副業で得た経験や人脈がキャリアの幅を広げたり転職に繋がる例もあり、将来のセーフティネットや**セカンドキャリア**準備として副業に前向きな人も増加しています³⁷。こうした個人側の意識変化により、「スキルを活かして本気で稼ぐ人」だけが残る時代になりつつあり¹⁷、質の高い副業サービスが選ばれていく流れが生まれています。

年代別に稼ぎやすい副業ジャンルや特性

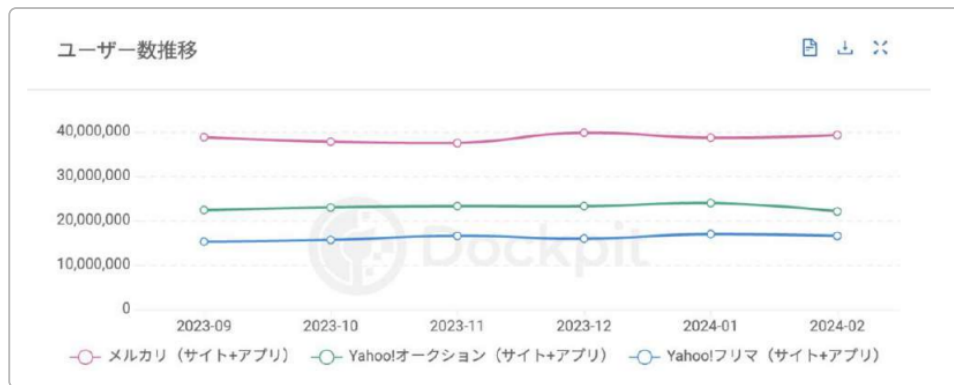
- ・**20代:** デジタル世代である20代は、SNS発信や動画配信などネットを活用した副業に強みがあります。比較的時間とバイタリティがあるため、**YouTuberやブロガー**などゼロから挑戦する副業にも果敢に取り組む傾向があります。専門スキルはこれから培う段階ですが、プログラミングやデザインなどを独学・スクールで学び、副業で実践経験を積む人も多いです³⁷。また、副業可の企業を志向する割合も20代で51.7%と若年層ほど高く³⁸、将来を見据え副業との両立を前提にキャリア選択する人も増えています。再現性の高いところでは、クラウドソーシングでの**Webライティング**や**簡単なデータ入力**などで実績を積み、副収入を得ながらスキルアップしているケースが目立ちます。総じて20代は柔軟な発想で新しい副業トレンドにも敏感で、最新アプリやサービスをいち早く取り入れて稼ぐ傾向があります。
- ・**30代:** 30代は本業で得た経験や専門性を活かして**スキル系副業**に挑む人が多い世代です。特に30代後半になるとマネジメントや専門職の知見が蓄積されるため、副業でコンサルティングを始めたり、**副業で起業準備**を進めるケースもあります。また家庭を持つ人も増えるため、「限られた時間で効率よく稼ぐ」志向が強くなり、単価の高い案件を求める傾向があります。実際、「副業可の会社を選びたい」と考える人は30代で57.1%と全世代中最も高く、副業意欲がピークになる年代です³⁸。育児中の30代主婦の場合は在宅でできる**データ入力**や**アンケートモニター**などスキマ時間副業を好む傾向もあります³⁹。一方で独身で時間に余裕のある30代は、副業に本腰を入れて月数十万円規模の収入を上げる人もいます。例えば本業の傍ら**フリーランスエンジニア**として週末に開発案件をこなしたり、**ハンドメイド作品**をEC販売して副業が本業収入を超えるといったケースも出ています。30代は体力・知力ともに充実しており、副業で飛躍しやすい世代と言えるでしょう。
- ・**40代:** 40代はキャリアの円熟期にあたり、培った人脈や専門知識を武器に副業で稼ぐ人が多いです。会社では管理職層ですが、副業では**専門コンサルタント**や**セミナー講師**として活躍したり、長年の趣味を副業化する例も見られます。例えば営業畑一筋の人が副業で地方企業の営業顧問になったり、ベテラン編集者が副業でライティング講座の講師をするなど、**本業の延長線上**で副収入を得るスタイルが主流です。副業可の会社を希望する割合も40代で約49%と半数に迫り⁴⁰、中高年でも柔軟な働き方を求める声が強まっています。また、40代は子育てや住宅ローンなど出費も増える時期のため、**安定した副収入**を求める傾向があります。空いた時間にできる**投資**や**不動産運用**（駐車場レンタルなど）で不労収入を得ようとする人もいれば、確実性を重視して**週末アルバイト**（塾講師やイベントスタッフ）で即金を稼ぐ人もいます。さらに、副業を通じて50代以降の**キャリア転換**を試みる人もおり、40代で複業に踏み切ることで50代のセカンドキャリア準備をする動きも増えています。
- ・**50代:** 定年が視野に入る50代では、**豊富な経験を活かした副業**が中心になります。特に管理職や専門職として長年培ったスキルをコンサルやアドバイザーとして提供する副業は、企業側からのニーズも高く収益性があります。シニア世代に適した副業として、**代行業務**（家事代行・シニア向けITサポートなど）や**地域の観光ガイド**といったものも注目されています⁴¹⁴²。50代女性では子育てが一段落したあとに**趣味のハンドメイド販売**を始めたり、料理教室をオンライン開催して収入を得るケースもあります⁴¹。ITスキルのある50代なら副業エンジニアとしてまだまだ活躍でき、「ミドル・シニアのIT人材は売り手市場」で副業案件も豊富とされています⁴³⁴⁴。一方、専門スキルがない場合でも**アンケート回答**や**軽作業バイト**など老後に負担にならない範囲で小遣いを稼ぐ選択肢があります。総じて50代は本業リタイア後も見据え、「無理なく長く続けられる副業」を選ぶ傾向が強く、健康面に留意しながら収入を得ているようです。

主要な競合サービスやプラットフォームの傾向と成長性

- ・**クラウドソーシング（スキル仲介）サービス:** 副業人材と仕事をマッチングするプラットフォームが多数存在し、その利用者数は年々増加しています。代表的な**CrowdWorks（クラウドワークス）**は掲載案件数・登録者数ともに国内最大級で、2024年9月末時点で**登録ワーカー数約672万人**、クライアン

ト数100万社を突破しました⁴⁵。同じく**LANCERS（ランサーズ）**も数百万人規模の会員がおり、WebライティングからIT開発、デザインまで様々な職種の副業案件が日々掲載されています。最近では高スキル人材向けに特化した**HiPro（ハイプロ）**や、副業転職支援の**lotsful（ロツツフル）**など新サービスも登場し、案件マッチングの精度向上や報酬保証など競合各社のサービス充実が進んでいます。クラウドソーシング業界全体で市場が拡大しており、副業人材マッチングは今後も成長が見込まれる分野です⁴⁶。

- ・**スキルシェア・マーケットプレイス**：個人の「スキル」を直接売買できる**ココナラ（coconala）**などのサービスも人気です。ココナラではイラスト作成、占い、文章添削、プログラミング相談に至るまで幅広いカテゴリーで個人が出品し、2025年現在、累計出品数は数十万件規模に達しています。また**タイムチケット**や**AnyTimes**といった時間単位でスキルや労働力を売るサービスも登場し、例えば「30分話し相手になります」から「家具組み立て代行」までユニークな副業が売買されています。オンライン学習プラットフォームの**Udemy**では日本人講師による講座数・受講者数が年々増えており、専門講座で数千人の受講生を集める人気講師も生まれています²⁸。これらスキルシェア系プラットフォームの成長性は高く、個人が自分の知識や特技をマネタイズしやすい環境として今後も拡大が期待されます。
- ・**コンテンツ配信プラットフォーム**：**YouTube**は副業プラットフォームとしてもはや定番で、チャンネル開設から収益化までのハードルが下がったこともあり、副業YouTuberが急増しています。日本国内のYouTube利用者は数千万人規模に上り、広告収入プログラム（YouTubeパートナープログラム）に参加しているクリエイターも非常に多いです。**TikTok**も短尺動画で収益を得るクリエイターが出てきており、ライブ配信の投げ銭機能などで月数十万円稼ぐ副業例もあります。**ブログ**に関しては、かつてからあるWordPressブログ運営に加え、近年は簡単に有料記事を販売できる**note**や**Brain**などのプラットフォームが登場し、副業ブロガーが活動しやすくなりました。特に**note**はクリエイターの発信とマネタイズを両立できる場として人気で、有料マガジン機能等を使って安定収入を得ている人もいます。コンテンツ配信系は一部トップ層に収入が偏る面はありますが、プラットフォーム自体の成長は続いており、関連サービス（動画編集代行マッチング等）も含めて副業市場を底上げしています。
- ・**フリマアプリ・ECプラットフォーム**：個人間取引を支える**フリマアプリ**は副業物販の基盤として定着しました。最大手の**メルカリ**は利用者数が圧倒的で、2024年2月時点の月間ユーザー数は約3,930万と他を大きく引き離しています⁴⁷。これは個人が非常に多くの潜在顧客にリーチできる市場があることを意味し、副業で転売・ハンドメイド販売をする人々にとって大きなチャンスです。実際、メルカリ上では洋服や家電の転売、副業ハンドメイド作家の作品販売など日々膨大な取引が行われています。老舗の**ヤフオク!（Yahoo!オークション）**や**ラクマ**も根強いユーザー層を持ち、特にヤフオクは40代以上の中高年ユーザーが多く利用しているのが特徴です⁴⁸。また**minne（ミンネ）**や**Creema（クリーマ）**といったハンドメイドマーケットプレイスも女性を中心に人気で、アクセサリー等の手作り作品を売買するプラットフォームとしてアクセス数を伸ばしています⁴⁹⁵⁰。これらEC系サービスは日本全国どこからでも参加でき、市場規模も拡大傾向にあります。特にメルカリは取引高・利用者ともに年々増加しており、累計出品数は2024年9月に40億品を突破するなど驚異的な成長を見せています⁵¹。副業者にとって販路が広がり続けている点で、物販プラットフォームの成長性は極めて高いでしょう。



主要フリマサービスの月間ユーザー数推移（サイト+アプリ合算）。ピンクがメルカリ、緑がYahoo!オークション、水色がYahoo!フリマのユーザー数です。2023年後半～2024年前半にかけてメルカリ（ピンク）が3,000万台後半～4,000万弱で推移し圧倒的のトップとなっています⁵²。このように利用者規模が大きいメルカリでは、多くの副業セラーにチャンスがあり商品も売れやすいと考えられます。一方、Yahoo!オークション（緑）はユーザー数自体は2,000万強ですが、オークション形式の特性上「1人あたりのアクセス回数」が多い（入札状況確認等で頻繁に閲覧）という違いもデータから読み取れます⁵³。こうしたプラットフォームごとの特徴を理解し使い分けことが、副業物販で成果を出すポイントとなります。

- ・**ライトワーク・短時間労働マッチング:** アンケートサイトやスキマ時間バイトの分野もサービス拡大が進んでいます。オンラインアンケートの**マクロミル**や**リサーチパネル**は会員数がそれぞれ数百万人規模に上り、コツコツ回答して月数千円～1万円程度稼ぐ副業ユーザーが多数います。最近特に成長が著しいのが**短時間バイトマッチング**のサービスです。例えばメルカリが2024年3月に開始した「**メルカリ ハロ**」は、1時間から働けるスポットワーク（スキマバイト）をマッチングするサービスで、開始3ヶ月弱で登録者数が500万人を突破しました⁵⁴。背景には飲食・小売業界の人手不足もあり、空いた時間に働きたい個人と人手をすぐ確保したい店舗側のニーズが合致して急成長しています⁵⁴。他にも**タイミー (Timee)** や**シェアフル**といった即日バイトアプリが若者から主婦までで人気で、単発のイベントスタッフや配送手伝いなど手軽な案件が見つかります。これらライトワーク系サービスのユーザー層は40代以上も約4割と広がっており⁵⁵、副業初心者がまず取り組むプラットフォームとして今後も需要が高いでしょう。

都市部と地方における副業動向の違い

- ・**都市部人材×地方企業のマッチング（地方副業）** – 大都市に在住するビジネスパーソンが、地方の中小企業や自治体の仕事を副業として支援する動きが近年広がっています。都会の大企業（日産、花王、リクルート、LINEなど）で副業解禁が進んだ背景もあり¹⁶、「都会にいながら地方で副業をする」という新しい働き方が誕生しました⁵⁶。例えば専門スキルを持つ都市部の人材が、人手不足に悩む地方企業の**マーケティング戦略立案**や**新規事業アドバイザー**を副業で務めるケースがあります⁵⁷。遠隔でZoom会議に参加したり、月に数回現地訪問する程度で成果を出せるため、双方にメリットが大きいと評価されています⁵⁸。地方側にとっては大都市圏の知見を取り入れられ、都市部の副業人材にとっては報酬だけでなく新たなやりがいやネットワーク形成の場にもなるのが特徴です³⁶。国も地方創生策として都市部人材の副業活用を推進しており、多くの自治体が「**副業人材マッチング事業**」に取り組み始めています⁵⁹。このように**地方副業**は一部の先進事例から全国に広がつつあるトレンドです。
- ・**都市圏 vs 地方の副業機会の差** – 一般的に**都市部**の方が副業機会は豊富です。理由として、都市には副業案件を提供する企業や個人が多く、依頼や仕事の選択肢が必然的に増えるためです⁶⁰。特にリアルな副業（対面のアルバイトや対面レッスン等）は、大都市ほど求人も多く時給も高い傾向があります⁶¹。例えば都心部では深夜のコンビニバイトやUberEats配達員など手軽な副業先が至る所に存在し、単価も地方より高めに設定されることが多いです。一方で**地方**では、副業ニーズはあっても地域

内で仕事を見つけるのは難しく、結果としてオンライン経由で全国向けの仕事をする人が多くなります。地方居住者がクラウドソーシングで全国の案件を受注したり、フリマアプリで自作商品を全国販売するといったケースです。通信環境の向上により地方から都市部の仕事にリモート参画できるようになったため、場所のハンデは以前より小さくなりました⁵⁶。しかしネット副業を行うにもPCスキルや情報へのアクセスに差があるため、都市部と比べ地方では副業開始率が低いという調査もあります⁶²（副業容認企業は増えても、実際に副業を行う正社員割合は都市部ほど伸びていないという指摘）。とはいえ地方でも副業への関心は高まっており、地元の観光特産品をネット販売する、農閑期にオンライン副業をする、といった地域特有の副業スタイルも見られるようになっています。

- ・**収入水準や生活コストの影響** – 都市部と地方では、副業に対する動機や得られる収入にも違いがあります。一般に都市部は生活コストが高いため、副業収入への期待額も大きく「月5万円以上」を稼いだ人の割合が地方より高い傾向があります。一方地方は生活費が抑えられる分、**少額でも副収入**があれば十分という声も多く、副業収入を趣味や交際費に充てる人が多いようです⁶³。また都市部は本業収入が高い人も多く、副業を**自己実現やスキルアップ**目的で行う割合が高いのに対し、地方では本業収入が低めな分、副業を**生活補填**として捉える傾向が強いとも言われます⁶⁴。ただしこの辺りは個人差も大きく、一概には言えません。いずれにせよネットを介した副業が主流となりつつある現在、居住地によるハンデは少なくなってきており、「地方在住だから副業で不利」という状況は着実に改善されています。むしろ地方の強み（自然や地域文化に根ざしたコンテンツ等）を活かした独自の副業も生まれており、多様な場所で多様な副業が成立する時代になっています。

参考文献・出典: 本レポートは最新の調査データおよび報道を基に作成しました。副業市場の動向についてはパーソルキャリアの副業市場予測⁴⁶⁶⁵、副業実態調査⁶⁶、マイナビの意識調査²¹、ferretのデジタルトレンド白書⁵²⁴⁷などを参照しています。各種統計数値や具体例については、該当箇所に出典を明記しています。今後も経済状況やテクノロジーの進展により副業のあり方は変化していくと考えられますが、2025年現在における日本の副業トレンドとして本稿が総合的な俯瞰となれば幸いです。⁴⁶²¹

¹ ⁹ ²³ サラリーマン副業ランキング2025年版！人気副業1位はこれだ！

<https://canvas-college.com/sidejob-ranking2025/>

² ³ ITエンジニアの副業は「週1〜2」「土日」だけがトレンド？副業の探し方と注意点 | パーソルクロステクノロジー

<https://staff.persol-xtech.co.jp/hatalabo/officework/517.html>

⁴ ¹⁸ ¹⁹ 動画編集者が増えすぎ？もう遅いのか将来性や需要を徹底解説 | コエテコキャンパス

<https://coeteco.jp/articles/12051>

⁵ 動画編集で副業！稼げないのか？収入・単価相場はいくらなのか解説

<https://coeteco.jp/articles/12076>

⁶ ⁷ ⁸ ¹⁰ ²² ²⁴ ²⁵ ²⁶ ²⁷ ²⁸ 2025年に人気が出る副業8つ | 副業のタネ | 編集部

https://note.com/fukugyo_seed/n/nbd4bce1be513

¹¹ ¹² ²⁰ ³⁹ 副業ランキング2025年版！初心者にもおすすめの職種をご紹介します

<https://forfreelance.co.jp/media/side-job/side-business-ranking/>

¹³ 【せどり】【2025年最新】海外で売れるもの10選！高く売るコツも...

<https://aucfan.com/times/archives/53910>

¹⁴ ¹⁵ ³⁶ ⁴⁶ ⁶⁵ persol-career.co.jp

<https://www.persol-career.co.jp/system/files/newsroom/news/pdf/>

NewsRelease_%E5%89%AF%E6%A5%AD%E6%A1%88%E4%BB%B6%E6%8C%AF%E3%82%8A%E8%BF%94%E3%82%8A%EF%BC%86%E5%B8%82

16 57 都会の副業希望者×地方企業のマッチングが人気の理由 | 消費インサイド | ダイヤモンド・オンライン
<https://diamond.jp/articles/-/168672>

17 2024年の副業トレンド振り返り & 2025年の最強おすすめ副業！ | エン@パパ会社辞めるってよ
https://note.com/tko_end0512/n/n609b1263d9d3

21 【独自調査】副業を始めるきっかけは「本業の年収に不満」が最多も、副業で得た収入は「10万円未満」が63.1% - CANVAS | 若手社会人の『悩み』と『疑問』に答えるポータルサイト
<https://mynavi-agent.jp/dainishinsotsu/canvas/2024/12/post-1427.html>

29 59 地方と都市部を“はたらく”で結ぶ「地方副業」。現状の課題と目指したい世界とは | and HiPro [アンド ハイプロ]
https://hipro-job.jp/and_hipro/interview/T000000332/

30 56 58 【地方副業】副業する側だけじゃない！地方企業にもメリットがある地方副業 | GMT - グローカルミッションタイムズ | 「地方で働く」を考えるビジネスパーソンのためのニュースサイト
<https://www.glocaltimes.jp/9051>

31 62 【公開用】副業兼業に係る調査報告書
<https://files.microcms-assets.io/assets/c3cd69bb37354c7585915b242fdd0236/bb9e4f277db3404fba5d53c009299b38/%E3%80%8C%E5%89%AF%E6%A5%AD%E5%85%BC%E6%A5%AD%E3%81%AB%E9%96%A2%E3%81%99%>

32 37 女性におすすめの副業10選【2025年最新版】稼げるのか解説 | コエテコキャリア
<https://coeteco.jp/articles/10972>

33 会社員の副業に関するアンケート調査（2024年4月） - PR TIMES
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000031.000079977.html>

34 「マイナビライフキャリア実態調査2024年（ライフ編）」を発表
https://www.mynavi.jp/news/2024/07/post_44461.html

35 2024年度最新の副業市場は？2023年との傾向の違いや副業を始める ...
<https://mynavi-ms.jp/magazine/detail/001307.html>

38 40 本業をもつ20～50代の現役ビジネスパーソンの2人に1人が「転職するなら副業可の会社」を希望 | クリエイターのための総合情報サイト CREATIVE VILLAGE
<https://www.creativevillage.ne.jp/category/news/144725/>

41 50代向けの副業17選 | 筆者の経験を元に徹底解説 - 日本デザイン
<https://japan-design.jp/side-job/9250/>

42 50代におすすめの副業10選！ おすすめの理由と注意点を徹底解説
<https://nawabari.net/blog/knowhow/side-jobs-for-50s/>

43 44 副業を考えたい方必見！人手不足業界から今後を考える | キャリア50
<https://career50.jp/blog/1806/>

45 株式会社クラウドワークス | CrowdWorks, Inc.
<https://crowdworks.co.jp/>

47 48 49 50 52 53 2024年デジタルトレンド白書 | フリマ市場やハンドメイド販売サイトなどの調査データまとめ | ferretメディア
<https://ferret-plus.com/130751>

51 「メルカリ」累計出品数が40億品を突破
https://about.mercari.com/press/news/articles/20240911_4billion/

54 「メルカリ ハロ」の勢いが止まらない…登録者数が3カ月で500万人を突破 | TECH+（テックプラス）
<https://news.mynavi.jp/techplus/article/20240605-2959498/>

55 サービス提供開始から3ヶ月弱で登録者数500万人を突破 | 株式会社 ...

https://about.mercari.com/press/news/articles/20240605_mercarihallo_500/

60 【いまや国民総副業時代ですが】 都会と田舎ではどちらの方が副業者...

https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q11286412071

61 地方での副業・兼業が注目されています - SMOUT

<https://smout.jp/features/89/plans>

63 【2024年版】「副業」の実態を徹底調査！副業の収入額など

<https://www.jmsc.co.jp/knowhow/topics/12562.html>

64 第43話 副業って実際どうなの？ 20?30代女性の実状と ... - SBI生命

<https://www.sbilife.co.jp/knowledge/hint/index43.html>

66 【パーソル最新調査】IT人材にフォーカスした副業実態 IT人材の半数以上が副業を経験、うち副業先への転職経験者は68.5%

<https://www.persol-innovation.co.jp/news/2025-0226-2>